

44. 患者に優しいケア作品づくり

グループ名：和医大ボランティアの会 縫製チーム

代表者：塩田 美知代

1. 活動の目的

当会は、地域の基幹病院として、患者さんが良好な環境下で療養できるように援助することを目的として、無償の貢献活動により患者サービスの向上に寄与することです。

抗がん剤治療や脳手術後の脱毛に悩む人や、超・極小低出生体重児等の死亡退院時服などケアに役立つグッズ類を丁寧に縫製して届け、日常的に使用するケア用品を使用してもらうことで医療サービス向上の一助とするために縫製チームを結成しました。

日常生活から遠ざかっている患者さんに、生活の潤いとストレスの軽減に役立つように援助することを目的とします。

2. 活動の概要

県下で唯一の特定機能病院であり、「がん診療連携拠点病院」「災害拠点病院」「高度救命救急センター」「周産期総合医療センター」「エイズ治療拠点病院」等の指定病院として高度な医療を提供する施設で活動するボランティアです。患者にとってはストレス度が高いと考えられます。臨床現場の従事経験をもつボランティア・コーディネータの呼び掛けで、患者に優しいケア用品の作成と普及活動に賛同する裁縫を得意とする方々でチーム編成し活動しています。

不特定日の活動で、タオル帽子やベビーの送り着、アイスノンカバー作成にかかるミシンの掛け等担当を決めています。試作品は臨床現場で好評であることから品質を充実させて定期的な配布に加え、需要に応じた供給をおこなっています。

《活動内容》

***タオル帽子**：1枚のタオル（吸湿性、柔軟性の良い綿）で作成し、スキンヘッドの頭皮に優しく手縫いで仕上げます。

配布状況 (H26.10～H27.10月)	
病棟(2部署)	35
化学療法センター	44
緩和ケアセンター	13
放射線治療部(リニアック室)	7
計	99個

前年度は120個作成



タオルについては、和歌山市社会福祉協議会（ボランティアセンター）に協力依頼し、

センターからの広報（8月）を通じて地域の各団体に働きかけていただきました。先日、当会の活動に賛同して頂いた市立 A 小学校の校長を通じてタオル提供がありました。



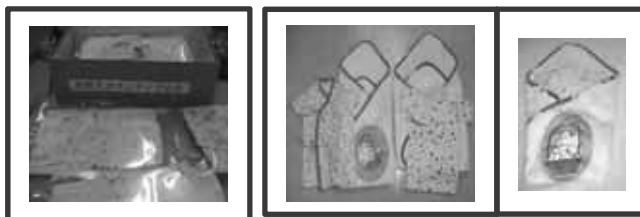
現場からの要請に応じて届けたり、訪問補充したりしています。

***ベビーエンゼル服・おくるみ**：産科や NICU で極小さな赤ちゃんが治療の甲斐なく亡くなった時の送り着を作成します。

余りにも小さい身体であるため市販品はなく、かつてはガーゼやタオルで身体を包んで帰宅させていました。折角生まれた命に愛着と尊厳を持たせたいと考え、子どもらしい布地で可愛く手縫いで仕上げた服のプレゼントであり、世話をした医療者に書いてもらうメッセージカードを付けて届け、使用してもらっています。

配布状況 (H26.10～H27.10月)	
ベビー送り着（男・女）	15 着
おくるみ（男・女）	7 枚

昨年度は服のみ 8 着作成

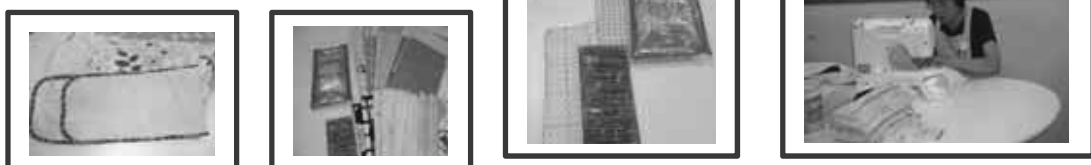


***アイスノンカバー**：病棟では白色タオルを袋状に縫って使用していましたが、度重なる洗濯で老朽化が著しかった。洗濯場ではマジックテープ付きの衣類と同時に洗うため繊維が飛び出す等、直ぐにボロボロになる状況であり、昨年一部署からの依頼で同等品を作成した経緯がありました。

院内全病棟（一部の外来）にもニードがあり、柄物タオルの提供を募り、集まったタオルで作成（大・小）したところ好評を得ました。日常的使用頻度の高い消耗品であるため、常時継続的に作成して年 2 回の定期配布と、布地をキルティングや綿布地とタオルを 2 枚合せにすることで見栄えと強度を保つように工夫した。頭部冷却用（大）と腋下冷却用（小）の 2 種類を 20 部署に配布する計画で実施しています。

布地はボランティア仲間からも提供を募っています。今年度は助成金を使うことが出来ましたが、活動を継続するための手段として、病院で布地等の必要材料を購入してもらうように交渉し承認を得ることができました。

配布状況 (H26.10～H27.10月)	
H26.12月 頭部用(大)	68
腋下用(小)	158
H27.8月 頭部用(大)	130
腋下用(小)	173
計	529 枚



***風呂用足マット**：古いベッドパットを有効利用しています。寝具業者に依頼して譲ってもらい、一枚の寝具から6枚作成します。カラフルなバイアステープで縁取り、パット布の補強をすることで十分使える物になりました。

今年度は、感染症対策の手段として、院内で大量にバスマットを購入して配布されたため各部署には配布していませんが、こつこつ作成を続けて、完成品を保管している状況です。

個人的に依頼のあった部署には配布しています(9枚)。



***その他**：緊張感をもたらす病院の雰囲気のを和らげるため、外来部門や緩和ケア病棟の壁等に季節に応じた飾り付けをおこなっています。

玄関の総合案内には、切り絵や押し花、パッチワーク等を工夫し、授乳室やプレイコーナーは子どもが喜びそうな飾りつけをおこないます。緩和ケア病棟では、鉢植えの世話と共に、ローカ窓辺の棚やガラスに季節感を感じてもらえるように飾り、写真等の掲示を主体的におこなっています。

<総合案内の飾り> 干支と紀州てまり お雛さま 切り絵



<外来プレイコーナー・授乳室>

七夕



<緩和ケア病棟>



3. 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金		100,000	
支出	備品類	アイロン箆手	3,791	
		アイロン台	2,480	
		ソーイング BOX、裁ち鋏、針類	5,886	
		クリスマスツリー用電球	3,990	
	小物類	ミシン糸 (200m:75 巻)、糸 (2)	12,750	
		作業室用品 (掃除物品、紙コップ、茶)	2,160	
		衣類クリーナー、フローリングシート、ナイロン袋	2,775	ナイロン袋(個別包装用)
	氷枕カバー	布地 (キルティング、綿生地)	35,227	複数回購入
	送り着	布地 (メリヤス、装飾小物:レース・リボン等)	14,003	
	タオル帽子	タオル	3,240	
	その他	飾り用小物材料 (フェルト布、紐等)	4,320	
		ハロウィン用 (雑貨、菓子)	7,672	小児医療センター
		七夕 (短冊・こより・祈願奉納費)	2,285	小児、緩和ケア、玄関ホール
		文房具 (色紙・花紙・フック・ボンド)	540	
	支 出 合 計			101,119

